

# 「ケアプランデータ連携システム」の活用について

## (1) ケアプランデータ連携システムとは

「ケアプランデータ連携システム」とは、居宅介護支援事業所と介護サービス事業所間で毎月やりとりされるケアプランの一部情報（予定・実績）をデータ連携するシステムです。厚生労働省からの依頼により、国民健康保険中央会において構築され、令和5年4月より運用されています。

サービス提供票や居宅サービス計画書など、手書き・印刷し、ファックスや郵送等でやりとりしていた書類を、データで送受信できるようになるため、業務負担軽減やコスト削減が期待できます。

本市では介護事業所の事務負担の軽減を図るため、ケアプランデータ連携システムの導入を推奨しています。

利用申請方法やシステムの詳細はこちら 

**公益社団法人国民健康保険中央会HP**

<http://www.kokuho.or.jp/system/care/careplan/>

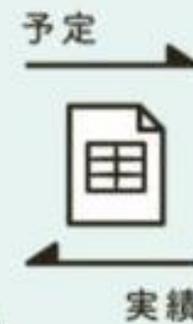
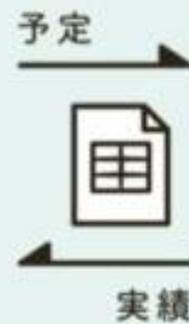
# 「ケアプランデータ連携システム」の活用について

【イメージ図】(公益社団法人国民健康保険中央会の資料から抜粋)

居宅介護支援事業所と居宅サービス事業所とのケアプランのやりとりを、  
オンラインで完結できる仕組みです。



居宅介護  
支援事業所



居宅サービス  
事業所

# 「ケアプランデータ連携システム」の活用について

## (2) 実施主体

公益財団法人 国民健康保険中央会

## (3) 費用

ライセンス料：年間21,000円（消費税込）※

※令和7年度については1年間のフリーパス(無料利用期間)あり (R7.3.6介護保険最新情報Vol.1361)

## (4) ケアプランデータ連携システムの利用状況（外部サイト）

福祉・保健・医療の総合情報サイト「WAM NET」にて、「ケアプランデータ連携システム」全国各事業所の利用状況を掲載しています。

近隣地域での利用状況が地図を通して視覚的に確認できますので、ご覧ください。

 <https://www.wam.go.jp/wamappl/kpdrsystop>

# 「ケアプランデータ連携システム」の活用について

▼下表は海南市で導入されている事業所の一覧です（令和7年3月4日時点）

※WAM NET「ケアプランデータ連携システム利用状況」より抜粋

サービス種類	事業所名	住所
通所介護	エンジョイさくら	和歌山県海南市大野中449-3
居宅介護支援	ケアサポートさくら	和歌山県海南市鳥居3-1
居宅介護支援	ケアプランセンター・こころ	海南市下津町方2088-32
通所リハビリテーション	さくらデイケアセンター	和歌山県海南市鳥居1-1
認知症対応型通所介護	デイサービスうらら	和歌山県海南市鳥居1-1

